テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14　備忘ログ(PATCH2.0)　サブクエスト

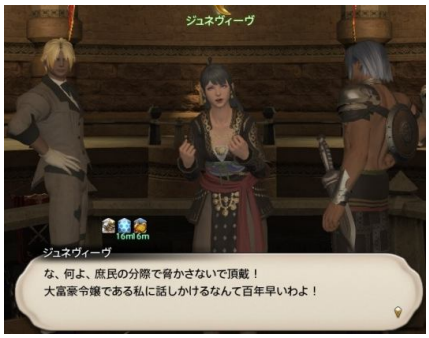
ザナラーン編

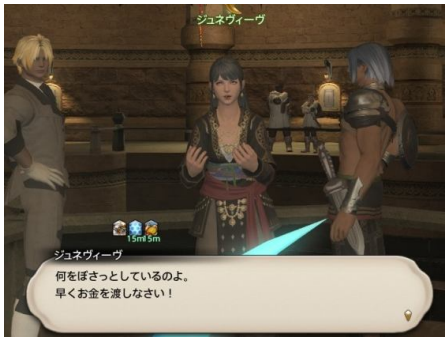
ウルダハ

©2010－2014 SQUARE ENIX CO.,LTD.All Rights Reserved. FINAL FANTASY XIV

富豪のはした金

ジュネヴィーヴ ： うひゃほっ！
な、何よ、庶民の分際で脅かさないで頂戴！　大富豪令嬢である私に話しかけるなんて百年早いわよ！
お陰でお財布から、お金が落ちちゃったじゃないの！　まったく、お金がありすぎるってのも大変よね。
……って、アンタのせいよ！？　さっさと落ちているお金、拾ってくださいませんこと？





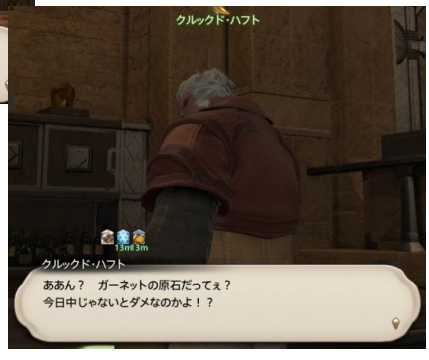
ジュネヴィーヴ ： 何をぼさっとしているのよ。早くお金を渡しなさい！
ひいふうみい……　ふぅ、どうやらちゃんと全額拾えたみたいね。まったく、気をつけてほしいわ！
だ、大富豪だからこそ、小銭に管理も気を抜かないのよ？　別にケチなんかじゃないんだからね！

新米剣術士のお願い

ザザリック ： やあやあ、気が早いね。すまないがサインは遠慮させてもらうよ。
おや、僕を知らないだって……？　今度剣闘士としてこのコロセウムでデビューする、
噂の超大物ルーキー、ザザリックとはズバリ僕のことさ！
そうだ君、将来の大スターであるこの僕の、華々しいデビュー戦を飾る装備が欲しいんだ。
ちょっと「彫金師ギルド」の受付まで行って、この注文書どおり、カッコいいサークレットを、発注してきてくれよ。

彫金師ギルド受付
ジェマイム ： アクセサリのご注文ですか？　かしこまりました。
ふむふむ、これはまた……　ずいぶんと派手なサークレットですね。
おや、このデザイン通りに作るには、装飾に使用するガーネットの在庫が足りないようです。
すみませんが「採掘師ギルド」に行って、採掘師の「クルックド・ハフト」から加工前の原石を届けるよう伝えてくれませんか？

クルックド・ハフト ： 仕事が終わって、気持ちよく一杯ってところを、なんだよイキナリ……。
ああん？　ガーネットの原石だってぇ？　今日中じゃないとダメなのかよ！？
まったく、金持ちのボンボンってのはワガママだな。剣闘士だか何だか知らねェが、最近の若いヤツは、すぐにカタチから入りやがる。
まァ、依頼された仕事はキッチリ済ますぜ。剣闘士も採掘師も実力が第一だからな！



歓迎、臨時従業員

ジュリアナ ： 現在、ここ裁縫師ギルドは、富裕層の人々が集う社交パーティの準備のため、猫の手も借りたいほど大忙しです！
つきましては、仕事を手伝ってくれる臨時の従業員を募集しています。
まぁ、お仕事は生地や素材の搬入、着付けのお手伝いなど、誰でもできる雑用なんですけどね。
店先にいる人たちにお仕事の勧誘をしてきてもらえますか？　相手に向かって「歓迎する」をすればいいんです。
試しに一回、ここでやってみましょうか？　私に向かって「歓迎する」をしてみて下さい。

ジュリアナ ： うんうん、いい感じです！　それではさっそく、お仕事をお願いします！

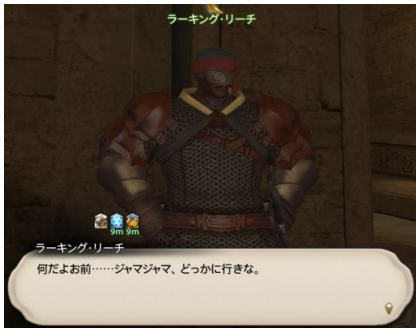
エスデリーヌ ： ウルダハっ子はオシャレに敏感なの！　今日はこの腰のショールを髪の色と合わせてみたのよ！
裁縫師ギルドの仕事？　う～ん、迷うなあ、興味はあるんだけど……。

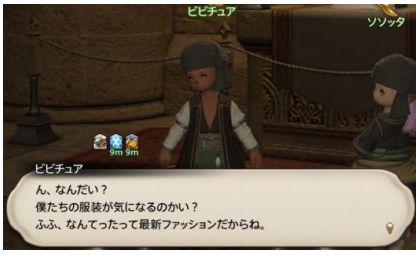
ジェリオン ： ねぇ、今度の社交パーティって、どんな新作ドレスが発表されるのか楽しみよね！　まぁ……招待されてないけど。
すっごぉ～い、憧れの裁縫職人になれるの！？　これをキッカケに、私も売れっ子デザイナーね！

ラーキング・リーチ ： 何だよお前……ジャマジャマ、どっかに行きな。
あ～、裁縫師の仕事だって？　つーか、この身なりを見てわかんだろ？　俺は今、警備中なの、警備中。他当たってくんな！

ビビチュア ： ん、なんだい？　僕たちの服装が気になるのかい？　ふふ、なんてったって最新ファッションだからね。
ほぉ、裁縫師ギルドのお仕事ねぇ。でも悪いね、お金には困っていないんだ。

ソソッタ ： あらぁ、何か用かしら？　もしかして、ファッションモデルのスカウト？　それは困っちゃうわ～。
私は手先が不器用なの、残念だけど無理ね。この間もボタンひとつ付けるのに、2時間もかかったわ！

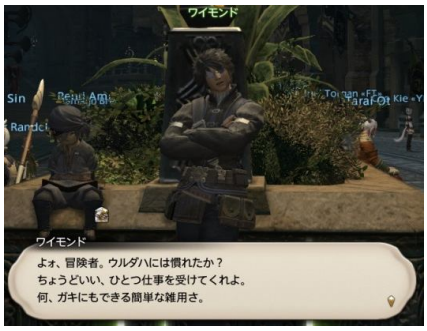


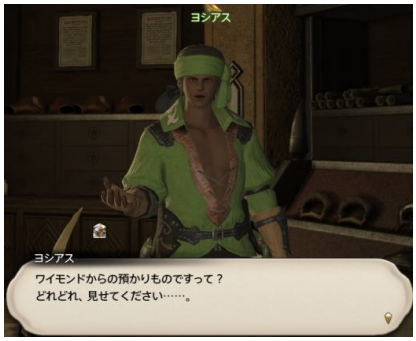


ジュリアナ ： おかえりなさい、勧誘は上手くいきましたか？　みなさん、裁縫師のお仕事と聞いて、何やら色々と夢が膨らんでいるみたいですね。
確かに一見、華やかそうに見える世界ですが、実際は、なかなか地道で根気のいる仕事なんですよ。
まぁ、どこの業界も同じでしょうけどね。

情報屋の依頼

ワイモンド ： よォ、冒険者。ウルダハには慣れたか？　ちょうどいい、ひとつ仕事を受けてくれよ。何、ガキにもできる簡単な雑用さ。
「格闘士ギルド」の受付にいる「ヨシアス」に、この「無記名の封書」を届けてくれないか？
ウルダハで最も高い値のつく物は「情報」だ。情報屋の俺に恩を売っておいて、損はないぜ？

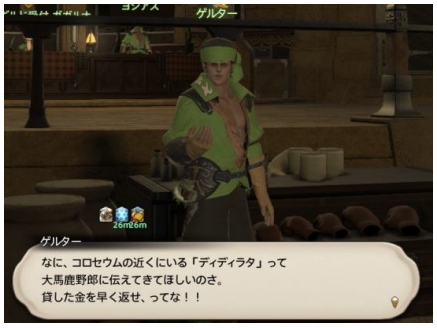




ヨシアス ： ワイモンドからの預かりものですって？　どれどれ、見せてください……。
ふむふむ、なるほど……。さすがはウルダハ一番の情報屋、彼に仕事を頼んで正解だったようです。
「依頼人に支払い能力ナシ。手を引くことを薦める」……と、やはりそうでしたか。
あ、この書類ですか？　我々格闘士ギルドは、護衛任務も請け負ってましてね。これはその依頼人の身辺調査資料ですよ。
格闘士ギルドは体が資本。安請け合いはできませんからね。

金の行方

ゲルター ： おいお前。今俺と目があっただろ？　あ～ん？　なにビビってんだよ、何もしねェよ。
なに、コロセウムの近くにいる「ディディラタ」って大馬鹿野郎に伝えてきてほしいのさ。貸した金を早く返せ、ってな！！
直接会ったら、ぶん殴っちまうからな。だから代わりに、パシッと言ってきてくれや。



ディディラタ ： げげっ！　ゲルターの使いか！
わ、わかってる、わかってるって！　金はなんとかするよ！　だから殴らないでくれよぉ、ひいい～。

返済の目算

ディディラタ ： 金を用意する見込みならあるんだ！　こ、この「光り輝く指輪」だよ！
見てくれは悪いけどこいつを売れば結構な額になるはずなんだ。
たしか「アルダネス聖櫃堂」の「ママネ」が、信者の救済のため、装飾品を高く買い取るって……。
頼む、こいつをママネに売ってきてくれ！

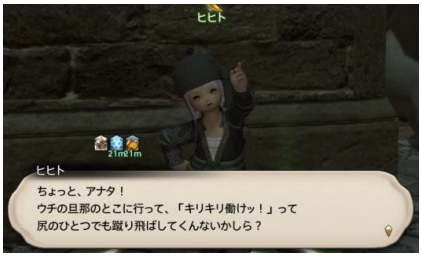
ママネ ： ええ、装飾品なら高値で買い取らせていただきますよ。儲けなどとんでもない、これも信者の救済の一環です。
ほぅ、ディディラタ様がこちらを……。ですが、残念ながらこの指輪はニセモノです。
お金？　むしろこちらが買取り料を頂きたいくらいです！
……まぁ、捨てるのもなんですから、この指輪は、こちらで処分しておきますね。
お金にはならなくとも、立派な行いは必ず報われます。きっとナル神は見ておられますよ。ふふふふふ……。

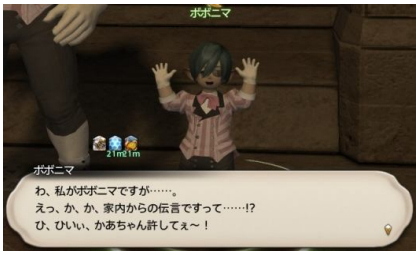
ある恐妻家の悲劇

ヒヒト ： ああ、もう……ナル神様へのお布施って、なんでこんなに高いのかしら！　しかも毎月毎月、やってらんないわ！
しかもパーティ用のドレスや美容やグルメ。あと、ペットのピーちゃんのエサ代も……。もう、破産寸前よ！
まったく、それもこれもぜ～んぶ旦那のせいよッ！　あの宿六の稼ぎが少ないから、ロクな生活ができないのよッ！
ちょっと、アナタ！ ウチの旦那のとこに行って、「キリキリ働けッ！」って尻のひとつでも蹴り飛ばしてくんないかしら？
旦那は「ボボニマ」っていう甲斐性ナシで、今は「コロセウム」前あたりで剣闘士のポスター貼りの仕事をしてるはずよ。

ボボニマ ： わ、私がボボニマですが……。えっ、か、か、家内からの伝言ですって……!?　ひ、ひいぃ、かあちゃん許してぇ～！
す、すみませんが冒険者さん！　この哀れな恐妻家を救うと思って、ちょっと私の仕事を手伝ってくれませんか……？
現在、売り出し中の「剣闘士フランツのポスター」を、「コロセウム」の「人目につきそうな壁」に貼ってほしいんです。
コロセウムへは、両側にある入り口のどちらからでも中に入れます。
ポスターを貼り終わったら、「剣術士ギルド」の「ウォルカン」に報告してください。
そして私はきっと今日も徹夜です……はぁ……。

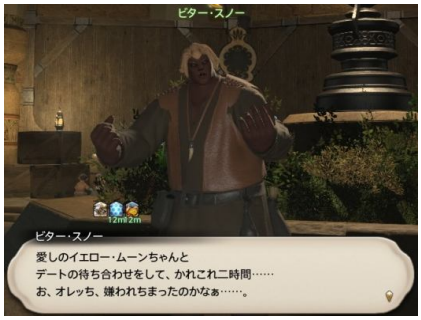
ウォルカン ： フランツのポスターを貼ったって？　彼は現在赤丸急上昇中の人気剣闘士だからね、ご苦労様。
……それにしても、ボボニマのやつ、冒険者の手を借りるほど忙しいとは……大変だな。
今度の給料、ちょっとぐらい色を付けてやるか……。
いやはや「結婚は人生の墓場」というが、ボボニマはまさに生ける屍ってやつだな……。
少しは休まないと、ザル神様からお迎えがきちまうぜ。

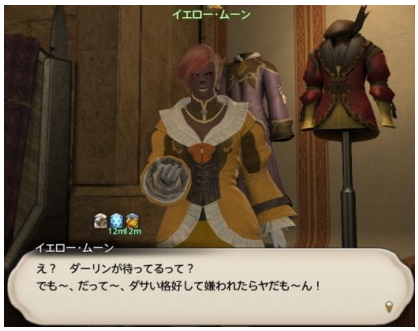




愛しのイエロー・ムーンちゃん

ピター・スノー ： ど、ど、どうなってんだ……
愛しのイエロー・ムーンちゃんとデートの待ち合わせをして、かれこれ二時間……　お、オレッち、嫌われちまったのかなぁ……。
わ、悪りィけど、アンタ。「イエロー・ムーン」ちゃんがどこにいるか、探してきてくんねェか？
彼女の家は確か「裁縫師ギルド」の近くだ。
ああ、やっぱオレッちがオシャレじゃねェから、フラれちまったのかなァ……。





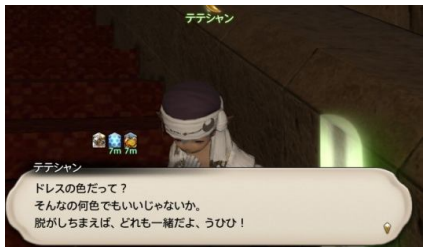
イエロー・ムーン ： あぁ～ん、やっぱダメダメ！　この服、ヘアスタイルと全然あってな～い！
んもう、せっかくダーリンとデートなのにぃ～。やっぱさっきのチュニックがいいかしら？
うえ～ん、イエロー・ムーン困っちゃむ～ん！
え？　ダーリンが待ってるって？　でも～、だって～、ダサい格好して嫌われたらヤだも～ん！

流行色は夢の彩り

エーセルワイン ： う～ん、どうしようかなぁ。今度発売する、貴婦人用のドレスなんですが……。
デザインはバッチリなのですが、コンセプトになる生地の色が、イマイチ決まらないんですよね。
もしよかったら、今年、流行する色をリサーチしてきてもらえませんか？
特にお得意様である政庁層の人々を念入りにお願いします。
色が決まったら「錬金術師ギルド」の「リューシュ」にその色の染料の調合を発注してきてもらってもいいですか？

オーベレト ： 今年の流行色だって？　ふ～む、私の洗練されたセンスを信じるなら……　スバリ……「赤」だな！

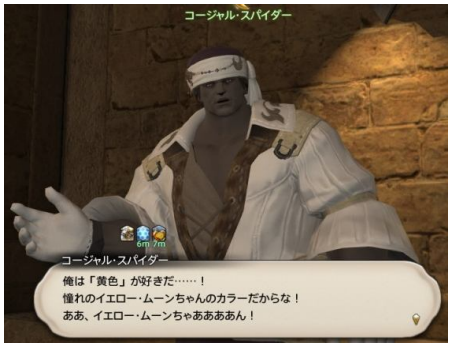
テテシャン ： ドレスの色だって？　そんなの何色でもいいじゃないか。脱がしちまえば、どれも一緒だよ、うひひ！



ドゥドゥムン ： 流行色ねぇ、「緑」なんてどうだ？　最近、黒衣森に行ったんだが、草色に染められた服がなかなかキレイだったぜ。

ファストレッド ： ドレスの色といえば、やはり「黒」だろう！　なんてったって、黒はご婦人を美しく見せる色だぞ。

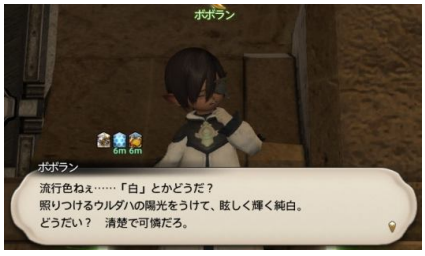
ージャル・スパイダー ： 俺は「黄色」が好きだ……！　憧れのイエロー・ムーンちゃんのカラーだからな！　ああ、イエロー・ムーンちゃあああああん！



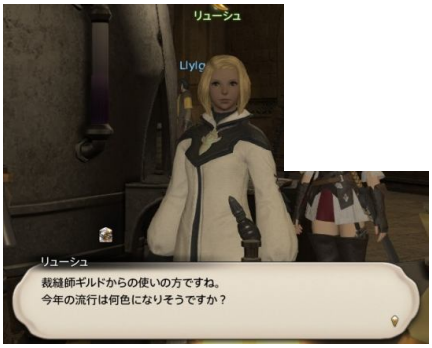
ボボラン ： 流行色ねぇ……「白」とかどうだ？　照りつけるウルダハの陽光をうけて、眩しく輝く純白。どうだい？　清楚で可憐だろ。

コルネル ： 服の色？　そうだなァ……　「赤と緑のマダラに、こげ茶色と紫のストライプ柄」だな。
どうだ、なかなか悪くないセンスだろ！

ルルレム ： 今年の流行色？　それはもちろん「赤」ですよ！　ウルダハは暑くて情熱的な街ですし、ピッタリです！

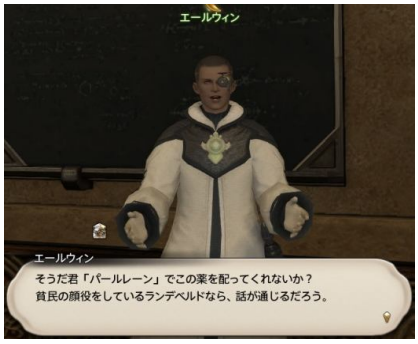


リューシュ ： 裁縫師ギルドからの使いの方ですね。今年の流行は何色になりそうですか？
ふむ、あなたのリサーチ結果を集計しますと……。
「赤」2票、「緑」「黄色」「白」「黒」各1票ずつ。「無回答」1票と、「ワケわかんない色」1票……。
なるほど、巷の意見では僅差ですが「赤」ですね。では、とっておきの触媒を使って、
今までにない鮮やかな赤い染料を調合したいと思います。
錬金術は一見、怪しげな学問と思うでしょうが、こうやって、いろいろな実験することによって、
生活に役立つ文化や文明の進歩を担っているのです。



新薬を求める手

エールウィン ： ふっふっふ……ふはははは！　聞いてくれ、ついに完成したんだ！
画期的な新薬「エールウィンの薬草トニック」だ。こいつを飲めば、ちょっとした発熱程度ならたちどころに治っちまう……に違いない。
そうだ君「パールレーン」でこの薬を配ってくれないか？　貧民の顔役をしているランデベルドなら、話が通じるだろう。
もちろん代金なんていらないよ。だって新薬の実験……げふんげふん！　貧しい人々を救うのは、錬金術師ギルドの使命だからな！

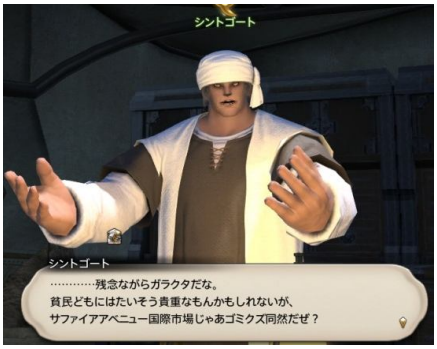


ランデベルド ： 何、エールウィンから薬の差し入れだって？
すまねェな、助かるよ……。これで、熱病で苦しむ仲間たちを救うことができる。
錬金術師ギルドの良心なんて、信用してねェよ。だが……例え実験体だろうとなんだろうとな、
俺たち貧民に、薬を選ぶ権利なんてねぇのさ。

パールレーンの掘り出し物

ランデベルド ： こんな場所までの薬を届けてくれた礼だ、この「古めかしい陶器」を持っていってくれや。
これは、パールレーンにやってきた流民が、質草として食料と交換にもちこんだものだ。
見てくれは悪いが、もしかしたら思わぬ値打ちモノかもしれねェ。
「サファイアアベニュー国際市場」で売れば、きっとそれなりの金になるだろうよ。

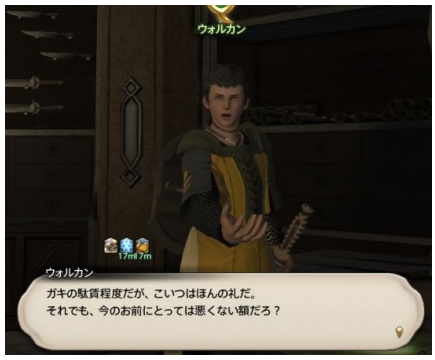
シントゴート ： へいらっしゃい、ご用は何でしょう？
おおっ……こ、この「古めかしい陶器」は……！？
……残念ながらガラクタだな。貧民どもにはたいそう貴重なもんかもしれないが、
サファイアアベニュー国際市場じゃあゴミクズ同然だぜ？
アンタももう少しモノを見る目ってもんを養わねぇと、生き馬の目を抜くウルダハじゃ、やっていけねぇぜ。



厄介なバグ対応

ウォルカン ： よぉ、冒険者、仕事を頼まれてくれねェか？　何、初心者でもできる簡単な仕事ってやつさ。
最近天候のせいか、レディバグっていう魔物が西ザナラーン付近に大量に発生してるらしいんだ。
単体だとそんなに怖いヤツじゃないんだが、集団で沸かれると、非力な商人なんかじゃぁちと辛い。
すまんが、ちょっと狩ってきてくんねェか？　そうだなぁ、4匹ほど狩れば十分だろ。

ウォルカン ： レディバグを倒してきてくれたか、ありがとよ！
見た感じ、まだまだ新米風のようだが。なかなかどうして、けっこうやるじゃねェか。
ガキの駄賃程度だが、こいつはほんの礼だ。それでも、今のお前にとっては悪くない額だろ？



生物図鑑の上枠に向けて

エラスムス ： 現在、私は魔物についての研究を進めています。呪術とは相手を傷つける術、そのためには
生物の生態と構造を熟知していなくてはなりません。
研究の成果は、将来「ザナラーン原生物図鑑」として、一冊の本にまとめようと思っているんです。
そこで冒険者さんにお願いです！「マーモット」から「マーモットの鮮血」を5つ、検体として集めてきてくれませんか？
マーモットはどこにでもいる魔物ですが、ここからならば、ナナモ新門を出た、「西ザナラーン」が一番近いでしょう。
よろしくお願いします。

エラスムス ： あっ、冒険者さん！　首尾はどうですか？
「マーモットの鮮血」を集めてきてくれて、ありがとうございます！
これで研究もはかどります。「ザナラーン原生物図鑑」の上枠に向けて、がんばりたいとおもいます！
これはささやかですが、お礼です。受け取ってください。

革製品の材料は？

ジャジャクタ ： 格闘士ギルドに立ち寄った冒険者よ。ここで会ったのも何かの縁、頼みごとを受けてくれるか？
私は格闘士ギルドに出入りしている商人なんだが、練習に使用するグローブや胸当てなど、格闘用革製品の大量発注を受けたのだ。
しかし……今、材料が在庫切れでな。「スナッピング・シュルー」という魔物の皮は、良質な革製品の材料になる。
中央ザナラーンにいるスナッピング・シュルーを倒し、「シュルーの粗皮」をとってきてくれ。
数は5つほどあればいい。頼んだぞ。

ジャジャクタ ： おっ、帰ってきたか。どうだ、成果はあったか？
おお、こいつは良質な「シュルーの粗皮」だ！
格闘士ギルドは大口の取引先だからな。納品が遅れて仕事に穴でも開いたら、大損失だ。
助かったよ、こいつはほんの礼だ。とっていてくれ。

ウルダハ操車庫の待ち人

ケケザニ ： ううう、眠い……ちょっと飲みすぎたかなぁ……。まいった。当直当番、寝過ごしちゃったよ。
悪いんだけど、この「鉱山鉄道の時刻表」を、「ウルダハ操車庫」の「ギギナス」に届けてくれないか？
あとは……よ、ろ、し、く……　むにゃむにゃ……。

ギギナス ： ケケザニの奴、いったい何やってるんだ！　遅刻なんて、鉄道員失格だぞッ！
おおっ！　こいつは「鉱山鉄道の時刻表」！？
まったく、あいつの酒癖の悪さには困ったもんだ。こいつがあれば、なんとか仕事は進みそうだ、ありがとよ。

間違えた荷物

ボタルフ ： ハァ……俺は荷運び人をやってんだがよ、実はついさっき、ちょいとドジっちまってさ……。
「スコーピオン交易所」から荷を運んできたんだが、間違えて他人の物を持ってきちまったみたいなんだ……。
だが俺はもう、港からの長旅でヘトヘト……。あんた、この「ホライズン宛の小包」を「スコーピオン交易所」まで届けてくれよ。
スコーピオン交易所の場所なら、ナナモ新門の衛兵「ミミシュ」に聞けばわかる……。それじゃあ、悪いけどよろしくな……。

ミミシュ ： 「スコーピオン交易所」の場所でありまっすか？　この門を出て西に進めば、辿り着くことができまっす！
荷物を届けにいかれるのでありまっすな。交易所の「オスェル」から話を聞くといいでありまっす！

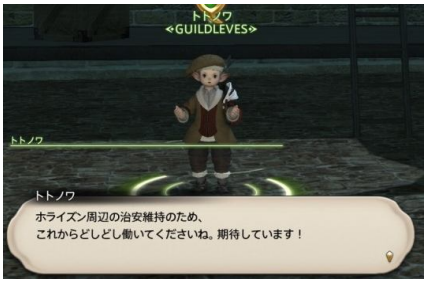
オスェル ： だーっ！　この糞忙しいのに、荷物がたりねぇ！　ボタルフの野郎、間違えて持ってきやがったな！
おーっしゃこれだこれだ「ホライズン宛の小包」！　まったくお前は、いつもせっかちでよぉ……！
……あぁ！　お前冒険者か！　あーあー助かったぜ、マジありがとな！
でも、ゆっくり礼なんかいってられねぇ！　俺ぁまだまだ、探してる荷物がいっぱいあるんだよ！

挑戦、ギルドリーヴ

ユースタス ： あなたのご活躍、モモディさんから伺っていますよ。冒険者ギルドで取り扱っている「ギルドリーヴ」を
引き受けてみませんか？
「ギルドリーヴ」とは、我が冒険者ギルドに寄せられた周辺市民からの依頼を、冒険者に斡旋・分配する仕組みです。
内容は、魔物退治のような「傭兵稼業」から物品製作といった「製作稼業」など、さまざまです。
冒険者にとっても、腕を磨くよい機会となるでしょう。
よろしければ「ホライズン」の「トトノワ」に声をかけ、実際にリーヴを引き受けてみてください。

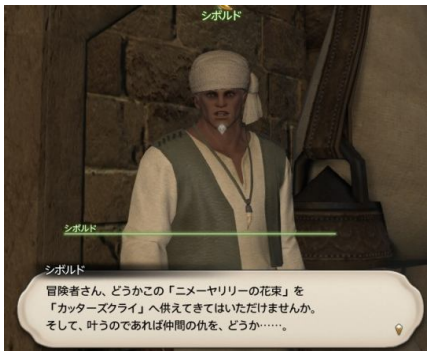
トトノワ ： こんにちは。私は、冒険者ギルドのトトノワ。ホライズンで、ギルドリーヴの案内をしています。
ユースタスさんから紹介のあった冒険者ですね？　それではさっそく、リーヴの依頼を……
……と、言いたいところですが、まずはあなたに、ホライズン周辺の
依頼を任せられる実力があるか、確認させてください。
私が取り扱っているギルドリーヴをお見せしますのでこの依頼に挑戦していただけますか？
ありがとうございます。ベイストは危機に陥ると、仲間のところに逃げてしまいます。
合流する前に倒してしまったほうが、楽ですよ。

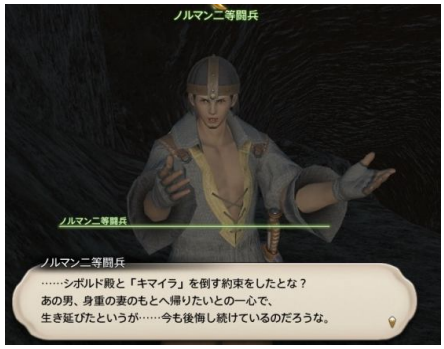
トトノワ ： 無事、依頼を達成できたようですね。それでは、ギルドリーヴの報酬を受け取ってください。
あなたの実力をしっかり見せていただきました。あなたなら、この付近の仕事を任せることができそうです。
ホライズン周辺の治安維持のため、これからどしどし働いてくださいね。期待しています！



約束のカッターズクライ

シボルド ： 時は無常ですなあ……。愚直で知られた私の名も、今では義士の代名詞。
傭兵団「闇夜の灯火」が威勢を張っていたのも今は昔ですわ。
隊長のゲルバルドに、副隊長のオブリエ。サイモン、チラン・ザプラン、アレソンヌにトールムーン。
土の下に眠る、かけがえのない私の……仲間たち。
彼らは「カッターズクライ」の奥底で、魔獣「キマイラ」の前に力及ばず散っていった……。ただひとり、私を残して。
……私はね、卑怯にも、死んだふりをして生き延びたのです。それ以来、毎年、彼らの最期の地に花を供えてきましたが、
寄る年波で、それも叶わなくなってしまいました。
冒険者さん、どうかこの「ニメーヤリリーの花束」を「カッターズクライ」へ供えてきてはいただけませんか。
そして、叶うのであれば仲間の仇を、どうか……。



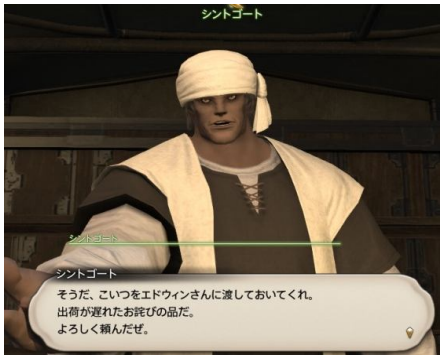


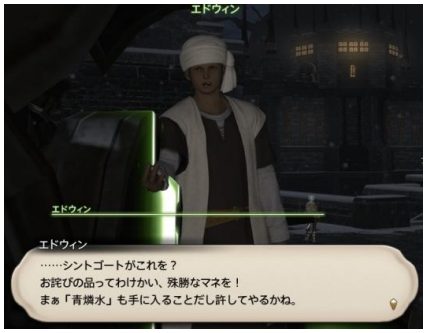
ノルマン二等闘兵 ： ここは、流砂の迷宮「カッターズクライ」だ。……聞こえないか、洞穴内から不気味な声が。
伝承によれば、あれは「キマイラ」という魔物の声だという。
お前に冒険者としての腕と自信があるなら、中へ入るがいい。しかし、生半可な覚悟では、命を落とすことになるぞ。
……シボルド殿と「キマイラ」を倒す約束をしたとな？　あの男、身重の妻のもとへ帰りたいとの一心で、
生き延びたというが……今も後悔し続けているのだろうな。

シントゴートの袖の下

※北ザナラーンクエスト「したたかな独占企業」からの連続クエスト

シントゴート ： アンタが動いてくれたおかげで、無事にクルザスへ「青燐水」が届けられそうだ。本当に、ご苦労だったな。
「キャンプ・ドラゴンヘッド」へ戻って、「エドウィン」さんに伝えてくれ。
ブツはすぐに届けるから少し待ってくれ！　ってな。





エドウィン ： 戻ってきたのかい！　それで「青燐水」はどうだったんだ！？
……シントゴートがこれを？　お詫びの品ってわけかい、殊勝なマネを！　まぁ「青燐水」も手に入ることだし許してやるかね。
あんたも、いろいろ大変だったようだね。おかげで助かったよ、ありがとう！

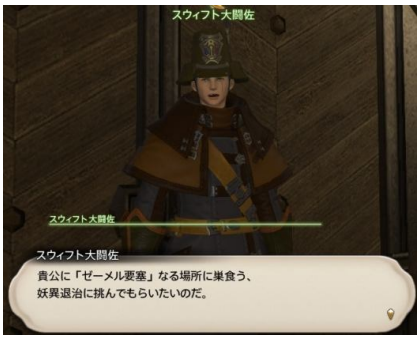
青燐水を求めて

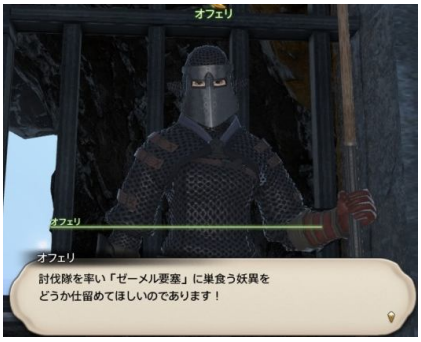
シントゴート ： その剣幕は「青燐水」の遅配が原因だろ？　エドウィンさんは、さぞご立腹だったろうなぁ。
……でもよ、こっちにはこっちの都合があんのよ。
「青燐水」の原料「精製済み青燐水」の仕入れが、少し前から滞っていて、在庫が底をついてるんだ。
「精製済み青燐水」は、北ザナラーンでアマジナ鉱山社が独占的に生産している。
つまり、出荷は鉱山社の奴らの胸先三寸ってワケだ。
どうしても今すぐ欲しいってんなら、「キャンプ・ブルーフォグ」の「パパワズ」に会ってみなよ。
いけ好かねぇアマジナ鉱山社の担当者さ。

パパワズ ： ん～、チミは誰だね？　ん～、冒険者？　このアマジナ鉱山社のエリート社員、パパワズに何か用かね？
ん～「精製済み青燐水」の出荷について、ウルダハのシントゴートさんから問い合わせですか。
なるほどなるほど……これは困りましたね～。

北方からの協力要請（不滅隊）

スウィフト大闘佐 ： ◇◇◇少闘士、我ら不滅隊のために、励んでいるようだな。
そんな貴公の腕を見こんで、任せたい任務があるのだ。イシュガルドのゼーメル家からの協力要請でな……。
貴公に「ゼーメル要塞」なる場所に巣食う、妖異退治に挑んでもらいたいのだ。
詳細は、クルザス中央高地「ゼーメル要塞」にいるゼーメル家の騎士「オフェリ」から聞くように。
良い報せを期待しているぞ、少闘士。





オフェリ ： 不滅隊からの援軍でありますか！？　これはありがたいのです！！
ここ「ゼーメル要塞」は、様々な妖異に占拠されてしまっているのであります。噂では、動く石像まで現れたといいますが……。
討伐隊を率い「ゼーメル要塞」に巣食う妖異をどうか仕留めてほしいのであります！

スウィフト大闘佐 ： おお、任務を達成したようだな！　ゼーメル家の騎士から、既に報告を受けているぞ。貴公の功績を称え、報酬として軍票を支給しよう。
これで不滅隊は、イシュガルドに恩を売ることができた。貴公の素晴らしい貢献ぶりについては、私から作戦本部へ連絡している。
しかるべき時が来れば、さらなる昇級も叶おう。「富と国のため」……一層の働きを期待しているぞ。